

# ウミタナゴ



写真提供：岩手県水産技術センター

◆**名前**：ウミタナゴ（学名：*Ditrema temmincki temmincki* Bleeker）

◆**分類**：スズキ目ウミタナゴ科ウミタナゴ属

◆**生息地**：北海道中部以南の全国各地で見られる魚です。岩手県の沿岸部にも生息しています。

岩場やアマモ（海草）がたくさん生えている場所、堤防などにいます。

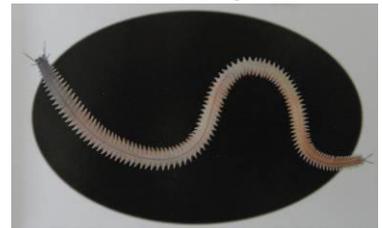
◆**大きさ・形・いろ・模様**

体長25～30 cm位まで育ちます。左右から押しつぶしたように平たい形をしており、全体的に銀白色でやや赤みがかっています。眼の下から上顎にかけて、黒褐色の線が1～2本、斜めに入っています。

◆**食べもの**：オキアミやエビの仲間、ゴカイやイソメなどを食べます。



トゲホクヨウオキアミ



イソゴカイ

写真の出典：

『小学館の図鑑NEO⑦水の生物』  
(小学館)

## ◆ウミタナゴの子育て

ウミタナゴは、卵ではなく子ども(稚魚)を産む魚です。交尾のあとメスの体内で卵が孵化し、稚魚が3~7cm位に育ってから産みます(卵胎生)。1回につき10~50匹程産みますが、最高記録として86匹産んだウミタナゴもいます。産まれてすぐに泳げるため、卵で産まれるよりも外敵から身を守りやすいというメリットがあります。



稚魚が、尾びれのほうから産まれてくるようす。

写真の出典:

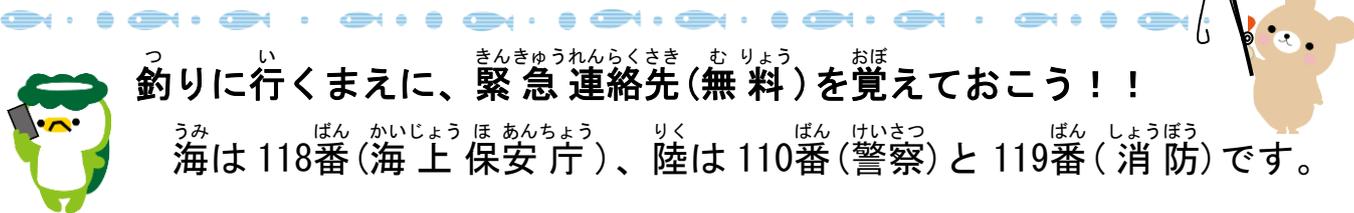
『小学館の図鑑NEO④魚』(小学館)

## ◆ウミタナゴは縁起が良い魚？

“一度に稚魚をたくさん産む=子宝に恵まれる”ことから縁起が良いとして妊婦さんにウミタナゴを食べさせる風習が残る地域があります。その一方で、稚魚が尾びれのほうから産まれる場合が多いため“逆子で産まれる”ことにつながり、縁起が悪いとして妊婦さんには食べさせない地域もあります。

## ◆ウミタナゴはおいしいのか

少し身はやわらかいですが、淡泊な味わいなので煮付けや塩焼きがおすすめです。お店で購入できますが、初心者でも釣りやすい魚です。



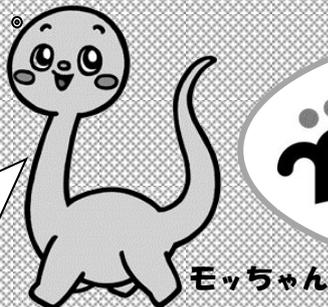
釣りに行くまえに、緊急連絡先(無料)を覚えておこう!!

海は118番(海上保安庁)、陸は110番(警察)と119番(消防)です。



参考 『標準原色図鑑全集 第4巻』保育社 1980年/『小学館の図鑑NEO④魚』小学館 2003年/  
『小学館の図鑑NEO⑦水の生物』小学館 2011年/『図説 有用魚類千種』森北出版 1955年 他

来月(12月)の  
けんぱくものしりシートは  
体験学習室-13だよ!  
おたのしみに!



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>